

公開シンポジウム

「リハビリテーションと ビジネスをつなげる」

3

司会者 (敬称略)

木下 綾子 (株式会社ステラコンサルティング 代表取締役・中小企業診断士)

シンポジスト (敬称略)

糟谷 明範 (株式会社シンクハピネス)

及川 賢一 (NPO 法人 AKITEN・八王子市市議会議員)

中村 靖彦 (アビリティーズケアネット株式会社 取締役・営業本部長)



シンポジウム③「リハビリテーションとビジネスをつなげる」 糟谷明範



医療福祉の専門家である前に、そこで暮らす1人の人
Sync Happiess.co.,ltd 代表取締役/理学療法士 糟谷明範

シンポジウム③「リハビリテーションとビジネスをつなげる」及川賢一

及川賢一 1980年東京都八王子市生まれ。

東京都立大学大学院経営学修士課程修了後、ソニー株式会社、経営コンサルティングファームを経て、2011年より八王子市議会議員（無所属、現在2期目）。

NPO法人AKITEN代表理事。

「アートやデザインの力で、まちの理想像を提案し、現在のまちの姿とまちの理想像の間にあるGAPの解消に向けて、行政とも連携しながら課題解決策を実行していく。」という活動方針のもと、NPO法人AKITENの代表として様々なアートプロジェクトやワークショップを手掛けています。

2012年からAKITENの活動を開始し、八王子駅周辺の空きテナントを会場にしたアート作品の展示、ファーマーズマーケットの開催、子供たちの遊び場づくりなど、様々な事業を開催し、空きテナントの有効活用と、空きテナントの減少に向けた活動を展開してきました。

八王子駅周辺の空きテナントが減少したことをうけて、2016年から拠点を移し、現在は西八王子でAKITEN BASE CAMP(アートギャラリーとアーティストインレジデンスの複合拠点)の運営をしています。

AKITENの活動を軸に、市内の食の魅力を訴求するイベントや、八王子の繊維業者と連携したワークウェア制作、多摩の森林保全に向けたイベント開催や多摩産残材を活用した家具制作、市内のスポットを紹介する映像制作など、様々なまちづくりのプロジェクトの運営にも携わっています。

主な受賞歴に「第7回国土交通省まちづくり法人表彰 国土交通大臣賞」「2017年日本都市計画家協会優秀まちづくり賞」「2018年日本建築士会まちづくり賞」など。

シンポジウム③「リハビリテーションとビジネスをつなげる」中村靖彦

テーマ：“アビリティーズグループの取り組み”

シンポジスト：アビリティーズ・ケアネット株式会社

取締役 営業本部長 中村 靖彦

活動紹介：

1966年に始まったアビリティーズは、『人間に無能力者はいない。保障より働くチャンスを…。』のスローガンの下、障害を持つ4人で印刷業からスタートしました。1972年からは身体障害者の自立を支援・補助するための福祉用具・リハビリ機器の販売に着手しました。

1999年からは、福祉用具活用の実証の場、そして誰もが安心して地域で生活できる場として、デイサービス・有料老人ホームの運営を開始しました。介護保険制度の施行後は、社会は大きく変わり、業界全体が介護保険を中心とした事業にシフトされましたが、アビリティーズは高齢者や障害者の「自立」と「尊厳の保持」を実現するため、また「医療モデル」ではなく、「社会モデルの実現」に向け新たなサービスや活動を続けてきました。

【アビリティーズの主な活動】

- ・リハビリツアーの実施
- ・在宅支援センターの受託
- ・移送サービス（福祉有償運送）の運営
- ・団地における見守りサービスの実施
- ・障害者差別解消法制定に向けた運動と制定後のフォローアップ
- ・共生社会を実現するまちづくりへの協力
- ・障害者スポーツの普及支援
- ・行政、企業、団体向け接遇研修の実施
- ・福祉用具専門相談員、福祉用具プランナー、バリアフリープランナー等講習会の実施
- ・就労移行支援事業、就労定着支援事業の実施
- ・地域別大規模展示会の開催
- ・海外視察ツアーの実施
- ・ショールームの運営、集客型セミナーの実施、導入先へのフォローアップセミナーの実施
- ・レストランの運営
- ・各団体への協力 など